

高山地区公民館（日置市）

住民全員で行う地域づくり活動



地区の棚田

地区概要

日置市の最北端に位置する中山間地域。河川沿いに農地や棚田が点在する以外はほとんどが山林となっている。世帯の半数が独居高齢者世帯。

コミプラ設立の経緯、拠点整備

平成22年に地区を構成する6つの自治会を統合して「高山自治会」が誕生。平成23年に日置市のモデル地区に選定された。先進地視察、住民アンケート、住民参加のワークショップ、

NPO法人設立の勉強会等を重ねた後、平成25年に、地域住民全員が会員となる「NPO法人がんばろう高山」を設立した。同NPO法人を中心に、住民が一致団結して活動を行っている。

また、廃校となった小学校の施設を生かして、宿泊施設を備えた「高山地区交流センター」として開設し、大学サークル等の合宿を受け入れているほか、令和元年には、空き家となっていた旧上市来消防団高山分遣所を活用して「たかやま峠茶屋」を整備し、特産品の販売や住民の交流の場として活用している。

特徴的な活動

①住民の声から生まれた「お買い物ツアー」

移動手段を持たない独居高齢者が多いことから、月2～3回、地域住民を対象として、買い物や温泉などの施設への送迎を行っている。車両は市の補助を受けて購入したもので、NPO法



お買い物ツアー



棚田での稲刈り体験

人の所有となっている。買い物支援については、民間の移動販売車に依頼し、週2回地区内を巡回してもらう形で実施していたが、それだけでは物足りないとの意見があったことから、地域で検証を重ねた結果、現在の形になったもので、高齢者を地域ぐるみで支える仕組みとなっている。

②地域外からも参加！地域資源を活かしたイベント

棚田や里山などの地域資源を活用した様々なイベントを実施している。

棚田での田植え・稲刈りの米作り体験、里山での山菜狩り体験のほか、毎年11月には「高山ふるさと祭り」を開催し、マス釣り大会やこんにやく作り体験なども行っている。

このようなイベントを定期的で開催することが、地域外の人たちが何度も高山地区を訪れるきっかけとなっており、NPO法人の貴重な収益源ともなっている。



マス釣り大会

今後の展望（コミプラの声）

「住民の交通手段」のサービス向上のさらなる充実を図るため、買い物代行・配達サービスを行いたいと考えている。

また、「たかやま峠茶屋」で、高山の農作物を利用した料理を提供する一方、農作物・加工品・お惣菜の販売や各種体験イベント等を通して日常的な交流を行い、さらなる地域住民の所得向上につながる事業の推進を図り、活力ある地域づくりに取り組んでいきたい。



たかやま峠茶屋

日置市から一言

高山地区は、行政に頼らない自助・共助による活動を目指しており、過疎地域のモデル的な地区となっています。市としても、人口減少や高齢化が進む中で、時代のニーズにあった共生・協働を推進していきたいと考えています。

利用した補助金など

- ・共生・協働のむらづくり事業費補助金（県）（H28年度）
- ・日置市地域づくり推進事業交付金（市）（H26年度～）



高山地区公民館 | 鹿児島県日置市

PASSION

住民全員で協力すべし！